

多くの人から祝福されて感激の涙 山田地区の佐藤さんが100歳に

山田地区の佐藤ツヤさん（大正5年生まれ）が11月5日で満100歳の誕生日を迎えました。8日には町内の特別養護老人ホームでお祝い会が開かれ、多くの皆さんに祝福されました。夫を支え、家庭を守ってきた佐藤さん。和裁が得意で、着物などは自分で作製し、また、踊りが好きで、イベントや盆踊りでも披露していたそうです。会では、職員による手作りのケーキが用意され、ケーキカットも行われました。佐藤さんは、感激の涙を何度も拭いながら、100歳の長寿を喜んでいました。



認知症講座で正しい知識を 児童ら思いやりの心育む

11月4日、山田南小学校（近藤尚樹校長）の6年生34人が「孫世代のための認知症講座」を受講しました。これは認知症に対する誤解や偏見をなくし、高齢者に対する思いやりやいたわりの心を育むことを目的に行われており、ことしは町内の小中学校4校で開講。講座では、認知症の正しい知識を普及啓発する町内ボランティア『認知症キャラバン・メイト』が、寸劇などを通して認知症の症状や対応の仕方を説明しました。児童らは「困っていたら優しく声掛けしたい」と認知症への理解を深めていました。

本町で交通安全大会開催 事故防止へ向け思い新たに

11月15日に町中央公民館で宮古地方交通安全大会が開催されました。大会は、山田南小学校（近藤尚樹校長）の鼓笛隊による演奏のあとにスタート。交通安全功労者・模範校の表彰が行われ、本町からは佐藤勤さん（豊間根・89歳）と豊間根中学校（熊谷広克校長）が表彰されました。また、宮古警察署署長・玉澤賢一さんが「ことし、宮古管内では交通事故で5名が亡くなっています。この数字は決して少なくない」と交通事故情勢を報告。参加者は交通事故防止への思いを新たにしていました。



積み重ねた歴史噛みしめ 山田高校創立90周年迎える

11月5日、町中央公民館で県立山田高校（佐野茂樹校長）の創立90周年記念式典が行われました。式典では佐藤宏光同窓会会長が、歴代の校長、PTA会長、同窓会長や功労者に対し、感謝状を授与。佐野校長は「今後も地域に根差し、愛される学校を目指していきたい」と式辞を述べ、応援団によるエール、校歌斉唱で式典を締めました。その後は同校出身でサイエンスボランティアの小岩清水氏の講演会や、空手道部、吹奏楽部によるアトラクションなども行われ、母校の90周年を心から祝っていました。



町のわだいな

今月の題字 稲川 怜那さん（織笠小2年）

愛称は「オール」 念願の共同店舗棟オープン

11月10日、川向町で共同店舗棟「オール」がオープンし、また一つ町へ賑わいが戻りました。10店舗が入居した共同店舗棟は駐車場135台が用意され、スーパー棟と飲食棟が設けられています。先日利用が開始された「まちなか交流センター」も、2つの棟に隣接され、まさに町の中心街としての機能が期待されます。オープンセレモニーでは、佐藤信逸町長や共同店舗棟建設運営会社山田の阿部幸栄社長らがテープカットを行い、餅まきで門出を祝いました。その後、多くの町民が来店し、新装開店した店内で買い物を楽しんでいました。



大沢地区の復興を記念し きずなまつりを盛大に開催

大沢地区復興記念「きずなまつり」は、秋晴れの空の下、10月30日に行われ、会場となった大沢第1団地には、地区の復興を祝おうと多くの人々が訪れました。式典で佐藤信逸町長が、「この山田に新たな大沢地区を一緒に作り上げていきましょう」とあいさつ。テープカットや桜の記念植樹などが行われました。ステージでは大沢保育園（斎藤ひろ子園長）の園児らによる八木節や大澤大神楽の舞などを披露。会場は大いに盛り上がりしました。また、台風10号の被害を受けた岩泉町への募金も行われました。この日集まった募金は義援金として岩泉町へ送られます。



プロの音色に酔いしれる 仙台フィルが生演奏を披露

本と木のぬくもりの中にやさしい音色が響きました——10月30日、山田町ふれあいセンターで「サントリー&仙台フィルみんなのまちのコンサート」が開催されました。これは、サントリーホールディングス株式会社が、仙台フィルハーモニー管弦楽団の協力のもと、2020年まで各地で継続的な開催を予定しているもの。本町での開催は、その第1回目となります。聴きなじみのある音楽が奏でられると、その音色に会場からは拍手がおこります。観客らは「生の演奏はやはり良いものですね」「すごく感動しました」などと話し、余韻に浸っていました。

